

☆一夜限りの怪談図書館☆レポート

前回のみどりの翼でご紹介した「納涼!一夜限りの怪談図書館」 が8月27日に開催されました。中日新聞にも掲載されましたが、みなさんご覧いただけましたか?



当日集まった参加者は30人。まずはこども室のおはなしの部屋でこわ一いお話会。その後は閉館後の真っ暗な図書館を2~3人のグループに分かれて肝試しをしてもらいました。閉館後の図書館に響き渡る参加者の叫び声。猛暑の中、涼しい一夜を過ごせたようです。ちなみにアンケートで「あなたのこわいものは何ですか?」と聞いてみたところ、一番人気(怖かった?)は館長でした(笑)結果をティーンズコーナーのガラス壁面に掲示していますので、チェックしてみてくださいね。

これからも色んなイベントを開催できたらいいなーと妄想中です。ティーンズ向けにやってほしいイベントなどあったらティーンズコーナーの掲示板にぜひ投稿してくださいね。お待ちしてます♪

★☆★ 7。千告知 ★☆★

○読書かんそう画コンクール○

図書館毎年恒例となりました読書かんそう画コンクール。今年も開催します!10月17日まで募集しているので、絵を描くことが大好きな中学生のみなさんも是非参加してください。

展示期間・・・10/21~11/25

展示場所・・・こどもしつのガラス面

○キャリアデザイン講座○パラリンピックという舞台「目標が与えてくれる力」

今回の講師はバンクーバーパラリンピック冬季大会のアルペン日本代表、山本 光文さん。申し込みを直接図書館または電話(23-4946)にて受け付け中です。 パラリンピックでの貴重な経験を聞けます。ぜひご参加ください。

日時:10月17日(日)午後2時~3時30分

定員:40名(先着順)・参加費無料

☆特集 時間をさかのぼれ!☆

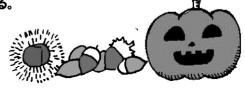
現実にタイムマシンはないけれど、

日記でふりかえると、ちょっと過去の気持ちを思い出す。

歴史を紐解くと、遠い過去が垣間見える。

さあ、 本をひらいて 自由自在に

「時間をさかのぼれ!」



11年さかのぼる・・・やり直しの書春

「リテイク・シックスティーン」

豊島ミホ // 著 幻冬舎 2009 年 913.6/トシ ティーンス



時間を巻き戻してやり直したい、戻りたいと思うことが ありませんか?もし、その願いが叶ったとしたら・・・?

高校に入学して間もない 4 月。沙織はクラスメイトの孝子に突然実は未来から来たのだと告白される。未来の孝子は27歳のニートだったらしい。何かのネタ?と半信半疑の沙織だったが、孝子は本気で人生を生き直しているらしい。はたして、やり直しの青春はうまくいくのか?

たまには家族で時代劇。

「時代劇をみるのがおもしろくなる本」

歴史のふしぎを探る会/編 扶桑社 2009年 210.04/ジ 一般



時代劇って中高生のみなさんにとってはなかなか見る機会がないと思います、でもこの本を読めばちょっと興味がわいてくるかも。例えば、暴れん坊将軍に出てくる将軍吉宗。いつでも町中にいるイメージだけど将軍って一日どんなスケジュールで過ごしているのか?時代劇では悪者の定番になっている悪代官の代官ってどういう職業?などなどテレビには出てこない時代劇の裏側がわかります。

大切な記憶が盗まれた!

「盗まれた記憶の博物館」上・下

ラルフ・イーザウ // 著 酒寄進一 // 訳 あすなろ書房 2002年 943/イ ティーンス



博物館の石像が盗まれ、警備員の父さんが行方不明に! おかげで父さんは警察に疑われる。しかも不可解なことに双子のジェシカとオリバーには、父さんに関する記憶をなくしていた。事件の調査をはじめた二人は、父さんの日記からクワシニアという忘れられたモノたちが行き着く世界の存在を知る。記憶とは何か?忘れたときその記憶はどこへいくのか?壮大な歴史ファンタジー。

5月31日午後4時大阪が全停止した。

「プリンセス・トヨトミ」

万城目学 // 著 文藝春秋 2009 年 913.6/マキ 一般



「女の子になる」ためにセーラー服通学を始めた真田大輔とそんな大輔を周囲から守る幼なじみの橋場茶子。そんな2人の住む大阪に国家予算の使い道をチェックするために東京から会計検査院の調査官がやってきた。400年間大阪の男だけに受け継がれ続けた、大阪城の地下に隠されたある秘密とは・・・・?綾瀬はるか主演で2011年初夏に映画が公開予定です。

過去・現在・未来

「不思議の扉 時間がいっぱい」

大森望 // 編 角川文庫 2010年 908.3/フシ ティーンズ



何度も繰り返される同じ10分間。時間はリセットされるが記憶は消えず、蓄積されていく…筒井康隆『しゃっくり』。ゴスロリ少女がバレンタインの告白直前に戦国時代へタイムスリップ!?…大槻ケンヂ『戦国バレンタイン』。記憶の中の恐ろしい女が、時間を越えてだんだん現在へ近づいてくる…牧野修『おもひで女』。時間にまつわる物語7作品収録、大森望編のアンソロジー集第2弾。

江戸時代からタイムスリップ

「ちょんまげぷりん」

荒木源 // 著 小学館 2010年 913.6/アラ 一般



シングルマザーのひろ子は、仕事や家事や息子友也のわがままに振り回されてストレスばかりがたまる毎日。そんなある日ひろ子はお侍の格好をした変な男に遭遇する。男は木島安兵衛と名乗り、なんと江戸時代の人間だという。半信半疑のまま情がわき、一緒に暮らすことになった三人。世話になるお礼にと家事を始めた安兵衛は、「料理」特にお菓子作りに意外な才能を発揮する。

かっこいい戦国武将たち

「泣ける戦国ばなし」

童門冬二 // 著 WAVE 出版 2009 年 913.6/ドウ ティーンズ



学校で勉強する歴史って、暗記ばかりでつまらないと思っているあなたへ(あ、もちろん歴史好きなあなたへも)おすすめします!戦国時代に活躍した有名な武将たちのエピソードを童門冬二氏が生き生きと描いています。

ちょっと格好良すぎかも?と思いながらも、過去に生きていた彼らの生きざまや心意気に感動する1冊です。

著者と歴女代表の杏さんとの対談も載っています。

お腹がすきます(笑)

「アイスクリン強し」

畠中恵 // 著 講談社 2008年 913.6/ハタ 一般



時は明治23年。文明開化により南蛮菓子から西洋菓子へと呼び名が変わり、アイスクリン・ビスキット・ワッフルスなどおいしそうなお菓子が続々登場。東京築地の居留地で孤児として育った真次郎は念願の西洋菓子店「風琴屋」をオープンした。彼の店を訪れる幼馴染でもと士族の巡査長瀬と同僚の「若様組」の面々、同じく幼馴染で成金のお嬢様沙羅。彼らは真次郎の店に次々と厄介ごとを持ち込んできて…。

Q. 江戸幕府開府の年に亡くなったイギリスの女王とは誰か?

「世界はいっしょにまわってる」

池上彰 // 監修 稲田雅子 // 文 小学館 2008 年 210.1/イ ティーンス



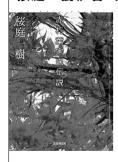
歴史、特に世界史を勉強していると時間の流れがイマイチぴんとこない、そんな人のためにオススメの一冊。別々に勉強している日本史と世界史も年代という同じヨコ軸で見てみれば分かりやすい!をテーマに、テレビでもお馴染み池上彰さんの監修で年代別に歴史を解説。イラスト付きなので読書が苦手な人でも大丈夫です(笑)

そして冒頭の答えは・・・ぜひ読んで確認してください☆

女三代のそれぞれの生き方

「赤朽葉家の伝説」

桜庭一樹 // 著 東京創元社 2006年 9136/サク 一般



幼少の頃に山脈の奥に隠れ住む「辺境の人」に置き去りにされた万葉は、製鉄業を営む旧家・赤朽葉家へ嫁ぎ、夫や息子の死を予言して「千里眼の奥様」と呼ばれた。その娘である毛毬はレディース番長として中国地方を制覇し、その後は人気少女漫画作家として活躍した。毛毬の娘である瞳子はといえば、何の取り柄もないニート。しかし、祖母の最期の言葉を聞き、その謎を解くために一族の歴史を洗いだす。

☆「時間をさかのぼれ!」なDVD

DVD『地下鉄(メトロ)に乗って』 C41/メ 渥美

地下鉄を降りて地上に出ると、そこは30年前の世界だった。男はそこで若い頃の父親 に出会う。原作は浅田次郎。

DVD『きみに読む物語』C42/キ 中央・渥美

認知症を患う老女に男はノートにつづられた物語を読む・・・。身分違いの愛をつらぬく純愛に号泣してしまうかも。

★★DVDは人気の資料です。貸出中の場合は、予約をしてネ!

□他にもこんな本あります♪□

○「歴史のこわさと面白さ」

中村政則 // 著 筑摩書展 1992 年 210/ナ ディーンス・

○「そのときあの人はいくつ?」

池上彰 // 監修 小学館 2008 年 280/イ ティーンス ご

○「恐竜の飼いかた教えます」

ロバート・マッシュ // 著 平凡社 1986 年 457.8/マ 一般

○「不思議の扉 時をかける恋」

角川書店 2010年 908.3/フシ ティーンズ

○「ねじの回転」上・下

恩田陸 // 著 集英社 2005 年 913.6/オン 文庫

○「風が吹けば」

加藤実秋 // 著 文藝春秋 2010 年 913.6/カト ティーンス・

○「港町ヨコハマ異人館の秘密」

山崎洋子 // 著 あすなろ書房 2010年 913/ヤ ティーンズ

○『戦国自衛隊 1549』

福井晴敏 // 著 半村良 // 原作 角川書店 2009 年 913.6/フク 文庫

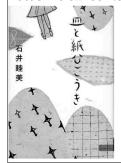
予告:次号の特集は「放譲後」です。 お楽しみに♪

☆新着図書・この本読んで!☆

太古から響き続ける恐竜の声…

「皿と紙ひこうき」

石井睦美 // 著 講談社 913/イ ティーンズ



「皿山」と呼ばれる、先祖代々から陶芸を家業とする家ばかりの集落で育った由香。1日に数本しかないバスで高校へ通っている。ある日、由香のクラスに東京からルックスはジャニーズ系で成績優秀な転校生がやってきた。無口で誰とも関わろうとしない彼は次第にクラスで孤立していく。ちょうど同じ時期に学校で奇妙な事件が起こり、彼が犯人として疑われることに…。

ギネスに挑戦!

「世界で一番長い写真」

誉田哲也 // 著 光文社 913.6/ホン ティーンズ



仲のいい幼なじみが転校してから、何だか毎日がつまらない宏伸。部活(写真部)でもなかなかいい写真がとれずに部長の三好に怒られてばかり。そんなある日、宏伸は祖父のガラクタ中古屋で360度パノラマ写真の撮影ができる不思議なカメラを見つける。試しに撮ってみた写真を見た三好によって、宏伸はカメラの製作者とともに世界一長い写真を撮ることになってしまう。

歩くだけで感動感激感謝できるか!?(三河湾でてきます)

「100km(ヒャッキロ)! I

片川優子 // 著 講談社 913/カ ティーンズ



30時間で100km歩くイベントに、勢いで参加することになった高1のみちる。しかも同行するはずの叔父けんちゃんにドタキャンされ、たった一人で歩くことに。「なんでこんなことしてるんだろう」と早速後悔していると、後ろから声をかけられ・・・。長い道のりを、ときに二人で、ときに一人で歩いて、みちるが気付いたこととは・・・?

実際に作者が 100km 歩いた経験から生まれた物語。